

2 朝市等

① いしやま朝市の開催

☞ 商店街振興組合と近郊の農家などが連携し20年目を迎える取組

【石山商店街振興組合（札幌市南区）】（石狩振興局管内）

■ 取組の背景

約1万人が暮らす札幌市南区の石山地区では、平成14年に地場スーパーが閉店し、当商店街でも、店舗が徐々に減少していく中、「何とかしたい」と模索していた状況にありました。

平成16年6月に地域で開催された「新石山まちづくりワークショップ」に参画した際、「高齢者が買い物ができ、コミュニケーションも図れる場が必要」との住民意見を受け、同年8月に「いしやま朝市実行委員会」が発足しました。

当商店街としては、まちづくりの推進に向け、振興組合の協働事業として、石山振興会館の敷地と建物を提供し、近郊の農家の方々などの協力をいただき、ミニ商店街として朝市開催に取り組んできました。

■ 取組の概要

朝市は、「いしやま朝市実行委員会」の役員や商店街従業員、大学生やボランティアなど約20名により、毎月第1・3土曜日の午前9時～10時に開催しています。

コロナ禍においても、消毒など感染対策を徹底しながら、来てくれるお客様のために、毎回欠かさず開催してきました。

毎回100人以上の買い物客でにぎわっており、出店もスタート当初の6店から、約15店まで増えています。

会場には、福祉のまち推進センター員がボランティアで運営する「ふれあい喫茶」を開設し、休憩及び交流の場として定着しています。



■ 取組のポイント

朝市の取組を通じて、地域・住民相互のコミュニケーションが増幅し、笑いと感謝が生まれるとともに、まちづくり及び商店街活動への理解が得られ、地域にとって欠かせない存在として、令和6年には、20周年を迎える予定です。

平成24年頃から社会福祉法人が、徒歩が困難な方の送迎を行うなど、地域との連携・支援の輪が広がっています。

また、当商店街が主導して、ホームページやSNSを活用した情報発信に取り組んでいます。

【参照 URL】

<https://ishiyamashotengai.com/asaichi/>

■ 今後の展開

長続きできたのは、地域の方々をはじめ当商店街組合員の協力があったことなので、これからも関係の皆様意見を伺いながら考えていくとともに、取組をさらに継続していくうえで、若い方の参加も募っていきたいと考えています。

